

食品ロス発生抑制対策について

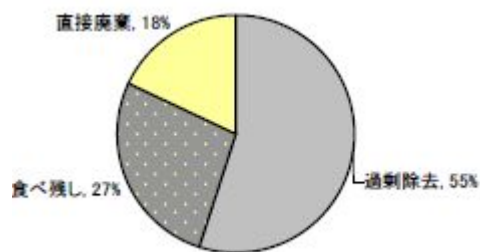
食品ロスは国内で約 621 万トン発生していると推計され、そのうち家庭から排出されるものは約 282 万トンとなります。これは 1 人 1 日あたり約 134 グラム（お茶碗 1 杯分のごはん相当）を無駄にしている計算となり、食品ロスの抑制は柏市のごみ減量施策として優先的に取り組むべきものとなります。

1 食品ロスの発生状況

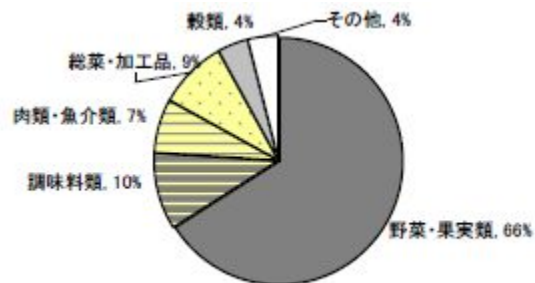
(1) 家庭における食品ロス

平成 26 年農林水産省食品ロス統計調査における食品ロスの発生理由の内訳は以下の図 1 のとおりとなります。また、発生してしまう食材の内訳は図 2 のとおりとなります。

【食品ロス発生原因】（図 1）



【食品ロス発生内訳（食品別）】（図 2）



(2) 食品ロスの家計への影響

平成 26 年度総務省統計による年収、構成人数ともに平均的な世帯における食費額（1 か月あたり 69,926 円）に、平成 26 年農林水産省食品ロス統計調査における食品ロス率 3.7% を乗じた約 30,000 円分が 1 世帯あたり年間の食品ロス発生額と試算しています。

(3) 外食産業における食品ロスの発生状況

農林水産省が外食産業を対象に行った平成 27 年食品ロス統計調査において、各外食の種別のうち、一番食べ残しの発生率の高いのは宴会の 14.2% で、食堂・レストランでの食事の発生量 3.6% と比較して約 4 倍の発生量となっていることが分かります。

これは、宴会中は自席を外れてお酌などを行ったり、飲食よりも会話を楽しむことに重きが置かれてしまうことが、発生量を増やす要因となっていることが推測されます。

2 柏市の食品ロス発生抑制策

(1) 広報媒体を活用した啓発

(2) 福祉への食品活用に向けた市役所関係部署の連携

(3) 全国おいしい食べきりネットワークとの連携